

1、園の教育・保育目標

教育・保育理念	自分と信じられる子に
教育・保育目標	人と人との関わりを大切にし、 家庭と力を合わせて 人と信じられる子を育てる。

2、本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な計画をもとに設定した自己評価の具体的な目標及び計画

乳児園庭と幼児園庭とのつくり、乳児と幼児との関わりを深め、  
 こも同士がより一層楽しみ、学びあえる場としていく。  
 又、こも自身が自分で考え、行動できるように、こもの動線と観測、予測して  
 環境を整え、こも一人一人の主体性を育てる。

3、評価項目の達成及び取り組み状況と評価

○教育・保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
教育・保育目標について	①教育・保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				保育参観時の 保護者からのアンケート を参考にしながら 保育に反映している。
	②目標は、園や地域の特色を生かしているか。		○			
	③目標は、社会の要請や保護者の要望を反映しているか。	○				

	④目標は、前年度の反省を生かし、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				乳児と幼児の肉割りと 戸外遊びを増やした。
項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
教育・保育について	①指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				
	②環境の構成を意識した教育・保育や過程を常に工夫しているか		○			
	③素材・用具を適切に活用しているか		○			
	④評価結果を基に、教育・保育の改善に努めているか。		○			
日時程	①1日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか。	○				
行事について	①行事の種類や実施回数は適切か。		○			コトトギス、行事の存続 等を再考した。
	②行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	③計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	④保護者の願いや意見を取入れているか。	○				役員会等で保護者の想いを 十分に汲み取っている。

○教育・保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営・組織	分掌・体制	①能率的、合理的な運営組織になっているか。	○				得意分野と活かせられるよう配慮している
		②職員の配置は適材・適所か。		○			
		③係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○				
	運営	①各種会議を適切且つ効率的に進めているか。	○				職員会等の発言に力を入れる
		②職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
	年齢別・クラス経営	①年齢別クラス目標は、教育・保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				生活の中に 込められている。
		②年齢別クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		③同年齢及び異年齢児間の効率的な活動の充実を図っているか。	○				
		④評価、資料（諸記録）を集積しているか。		○			
	保健・安全指導	①年齢別クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			毎月発行の新聞紙に掲載している
		②避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
		③健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
	情報について	①乳幼児や保護者に関する個人情報을適正に取り扱っているか。	○				
		②公文書收受、発送、処理を適正に行っているか。	○				
施設・設備	①施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○			園庭のおもちゃの片付け再検査 登園システムの導入	
	②遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○				
	③不審者に対応する周到な配慮を行っているか。	○					
	④掲示板、掲示場所等を適切且つ効果的に活用しているか。	○					
出納経理	①保護者会会計を適正且つ適切に処理しているか。	○					

項目	内 容	評 価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開かれたこども園づくり	施設間交流・連携	①他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っている。			○		コト禍で今年度は他施設との交流が減少した。
		②山間や授業・保育等に参加するなどして、小学校等の教育を理解しているか。		○			
		③日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			
	家庭・地域社会との連携	①参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日を設定しているか。	○				
		②保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			コト禍で利用が減少した。
		③乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。			○		交通機関、空港へのアクセスが改善された。
		④地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○		
	子育て支援の推進	①地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。	○				
		②「子育てについて」など、保護者を対象として学習の機会を設定しているか。	○				保護者や子育てについて高められた。
		③職員による育児にかかる「子育て相談」は充実しているか。	○				
		④医療機関、児度相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				2ヶ月に一度の言語聴覚士の来園
	情報の発信	①こども園だより、クラス通信、HP等で施設の情報を発信しているか。	○				毎月一回メール・新聞の発行
		②行事や子育て支援事業を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			オンライン等で行事の様子をお知らせ
	外部評価	①第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○		
②地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。			○				

4、自己評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
良好である	園の教育・保育理念・及び目標が職員一人一人に浸透してきていると感じる。 認定こども園として2年目。コロナ禍にもかかわらず、行事のついでに対しても「そとも論」で話しあえり。生きる、面白い!!と見える保育。こども一人一人の安心安全でめざすを大切にしてきた。1年であつたように感じる。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
コロナ対策	食事の際の西配置、西配膳方法等 乗降時の手洗指導
施設間交流連携	コロナが落ち着いた後、近隣の小学校等への交流を増やしていく。
食事	できる限りあんなかい食事で食べられるように 各クラスで盛りつけ等を行う(乳児)

6、学校関係者評価の意見

ただ子どもを預かってくれる場ではなく、子どもが主体的に生活できるように職員集団、そして保護者集団で皆で子どものことを考えたり知恵を出しあつて育つ場になっている。

子どもにとってよりよい環境とは何かを常に考え、話し合う職員の姿がある。保護者の意見を受けとめてくれ、子育ての悩みや思いを出しあえる。安心できる場がある。